いわき民報
発行所
平市田町48 電381・176 1222
社 いわき民報社
編集兼印刷人 田原登

休憩室
平会舘
電624

連記制選擧は當然だ
小名濱町選管委は語る

小名濱町では知事と町長の同時選擧を行つたため開票は縣下で一番遲くまでかかつたがこれは一枚の投票用紙に連記制をとつたためでこのため知事と町長は別個の用紙を使うべきでなかつたかとの聲もあるが、右について同町選擧管理委員會では次の如く語つている

同時選擧である以上連記制をとるのは當然だ、費用などの關係から見れば大變結構であつたと思つている、ただ無効が七百七十五票もあつたがこれも殆んど書方を間違えたのでなく白票であつた、然し町長の無効は七十九票であり町長を書いて知事を書かなかつたことは結局町長選擧に較べて知事選擧には無關心であつたことを示しているのだと云うことが言えると思う

重液法の選炭
廿六日 合理化に研究會開く

平石炭局技術審議會、東部炭鑛技術會の共催で二十六日午前十時から茨城縣山一炭鑛に常磐地方主要炭鑛の選炭技術者關係十五名を招集、現在常磐、好間等で行つているヂガー、バーム法（水を振動させる法）による選炭方法を現在アメリカで實施されている重液法による選炭技術、砂鑛ヂヤモン岩を入れた液体に入れ比重によつて選炭する法）に切替え企業化する爲に研究を行うもので、この重液法はヂガーバーム法に比べ設備費が安く、大量選炭が出來る等の良點があげられ田川、山一炭鑛等ではこの方法を實施して

增炭にさく岩技術
二月下旬普及會開く

東部炭鑛技術會常任委員會は二十四日午前十時半から東部石炭協會議室に開き、さく岩技術習及、研究發表會（秋期一回ずつ）の件や全國炭鑛技術會の報告その他昭和二十五年度の電力割當の資料作成、坑木問題として防腐材使用、合理的使用法、鑛柱使用法、溫泉根源の探査等の件について協議

さく岩技術習及會に就いては、平石炭局技術審議會、東部炭鑛技術會主催、資源廳、工業技術廳、東部石炭協會後援により二月下旬、工業技術廳業技術試驗所々所多田四郎（他一名）水野敬授（東大）等斯界の權威者を講師に招き、さく岩技術についての講演會（淺野記念館）や我が國で製作されている各種さく岩機並びにその他穿孔機等の性能試驗（常磐内郷鑛）を製作所關係者數名を招き實施することになり、經營合理化に必要な能率向上におけ

圖書習字展
廿八日から

石城、平小中學校圖書習字展覽會はPTA連合會磐城教員美術研究會主催で左記日割で開催する

△湯本會場一月二十八日、二十九日、三十日
△磯出會場一月一日、二日、三日
△平會場（平三小）二月五日、六日、七日
△鹿野會場二月九日、十日、十一日

納税應募作品に入選
廿八日知事賞等の授與式

昨年十一月から十二月にわたつて全國一齊に實施された納税強化運動期間行事の一つとして縣で行つた學生應募作品の表彰については先に神谷小學校六年生相原節夫君と平三小六年生押切光子さんが入選知事賞を獲得したが今回更に選外佳作として知事賞五名地方事務所長賞十五名が表彰され、二十八日午前十時から地方事務所に於て表彰狀及賞品が授與される

△知事賞、標語（完納は一人一人の自覺から）豐間小六年鈴木稔子、圖書赤井一小六年末藤博子、書方湯本中一年大井川睦子、全草野小六年遠藤波津子、作文平一小六年鈴木齊子

△所長賞、標語磯波中二年田子光子、全三阪小四年吾妻源五、全田人小六年立花稔、圖書田人中二年油座廣行、全平一小六年蛭田智子、全勿來中一年綠川律子、全勿來中三年根本タ一、全平一小六年新田敬三、書方赤井一中二年木村野江、全大浦中三年新妻富子、全勿來中二年川井モト子、全植田中二年菅野千代子、作文内郷一中三年瀬戸清彦、全磐崎中二年大平アサ子、全草野中二年佐藤喜久惠

檢査を受けぬ木炭
防止にあす技術者會

縣主催の木炭檢査技術者の滑通り研究會は二十六日午前十時から平市一丁目煉配平出張所に開く、今回は特に昨年九月改正になつた新炭規格に對するが正販賣の防止を主眼とするもので、この問題はすでに再一協議されて居りながら檢査價格を無視した販賣業者が多いため檢査の信用を失うものとして今後は檢査票のないものは販賣させない方法を講じることになつた

供米に功勞
廿七日市長賞

平市では二十七日午後一時から市廳舍第二會議室に農協班長會議を開いて二十四年度產米供出に功勞のあつた左記五班長と大量供出者五名に對し市長賞（賞狀及賞品）を授與してその勞をねぎらうことになつた

▽班長、高橋正惠（上平窪）福田長一郎（中平窪）草野雷雄（下平窪）吉田吉郎（右門（中鹽）高島三郎（紺屋町）▽大量供出者、鈴木

一人一万五千圓貸付
來月六日、更生資金貸付會議

縣では二月六日午後一時から石城地方事務所會議室に濱通り三地方事務所民生部長及町村民生委員を集めて第五次更生資金の貸付をすでに貸付けた金の償還促進についての協議會を開く、今回は特に失業對策の一環として就職の機會をつかもうとしているものを對象に一人一万円以下を返濟五年間で貸付けるが管内割當と申込者數の平衡を保つために各民生委員の調査等についても打合せる

六千トン生産
日水硫安製造に新記録

小名濱の水素では農村の要望に應えて生産に馬力をかけた結果從來月産五千トン内外であつた硫安が十二月には六千トンを突破、同工場創始以來初めての新記録を樹立した、同工場生産能力の最高限度を生産したわけで内外共に大喜び、本年はこの調子で年産七万トンを生産しようと大張切りだ、月産六千トンの生産額は一億二千万円になり、赤字續きであつた同社もこんどはこれを克服出來、今後は黑字へと邁進の意氣込みで一千五百の余從業員も張切つているが、この記録的生産で農村への配給は遺憾なく出來ようと

米一俵押收
列車を臨檢

平磯道公安室では二十四日常磐線上野行き二三列車（十八時四十分平發）を長塚一平間にわたり主食の一齊臨檢を行つた結果、無主物置去品九件主食七十三キロ（一俵强）を押收、惡質者と見られる次の三名を平市署に引渡した

△小名濱林野行商加藤幸作（四一）大豆八升米八升所持△内郷町高坂無職林重夫（三〇）大豆二斗米五升所持△内郷町宮人夫鈴木好子（二一）米一斗五升所持

人物評
大竹と云う男

田原登

六十年のわが福島縣政史上に初めてのことである民間人の知事大竹と云う男はどんな人か、かれに接した縣政界上層部の人々やその他多少知つている者もあるらしいが、石城にはあまり深い關係が無かつたため知る人は案外尠いやうに思うので私の知つている範圍内で大竹知事を紹介することは無駄でもあるまい

私は大竹作摩氏が最初縣會議員になつた頃からの知人である、かれは自ら「野人」と稱しているが風彩から受ける印象は正にその通り村夫人たるの感を脱しない、がつちりした丸そ廿貫匁位ある体格は堂々たるもので容貌は斜視がかつた目を備えきよとんとしていて何となく愛嬌があり私の或る友人はかれを稱して「タケノコを盜まれたやうな顔付だ」と云うのである、かれはいつも屈託がなく春風がつきまとつているようでかれと遊ぶことは何となく愉快である、今はどうか知らないがその頃は酒も煙草も欲まず大めしを食つて冗談をたたくが、その話術は巧妙で人を魅するに充分なのである

かれは政治的には故人になつた福島市長釘本衛雄氏の兒渡邊信任を大將として加藤宗平、大越里三と大竹の四人はいつも金魚のくそのように連つて歩いていたものでその中に、不肖私も一枚加つて五人組が出來ていた、その中で私が一番偉いと思つていた人が大竹氏で、敬發、辯舌の點では加藤、才人は渡邊、大越は凡才と私はひそかにそんな感に感じていた

かれはきつすいの政黨人で自由主義者である、且つて右翼がバツコし三、一五だの二、二六だのと云うテロ事件が相踵いで起きた頃私にこう云つたことを覺えている

かれ等は政黨財閥軍閥の一人一殺を企んでいるがこれは國を亡ぼすものだ、俺はこの右翼主義者をわれ〳〵政黨人の手で一人一殺をやろうと思うがどうか

と眞劍に悲憤こう慨した、その信念は今もつて一貫して變らない戦爭がはげしくなつた際小名濱の硫安を造る日本水素が軍需品工場に轉換しようとした時もかれは米を增産することも彈丸を造るのと同じだと反對して憲兵隊の厄介になつたこともある、官僚は行政技術を持つていると云う特權の陰にかくれて人民を苦しめるからこの官僚政治はどうしても打破しなければならぬと云うのがかれの持論だつた

かれはまた社會主義、共産主義は嫌いである、現在の民自黨は往年の資本主義時代の政黨より一歩前進し多分に社會主義をとり入れた政黨でこの線に副つて縣政を施行し過激政黨とは徹底的に抗爭して行くと云つている

平市五丁目
久 釜屋商店
電九・九九・九九九

一月二十四日付 いわき民報記事に就て
裏面の好澤武夫氏に答う

平市料理店組合

藝妓がお客樣に接待行爲の出來る飲食營業者と云うのは縣の法令に基き公安委員會より風俗營業取締法に依る許可をうけた營業者（平市は料理店）丈けでありまして（飯坂東山、湯本等特殊地帶の旅館は別）若しこれを無視し藝妓又は女中等に營業上の接待行爲をなさしめた場合は無許營業者として法規の違反に問われるのであります。

これがゆえに飲食店や旅館には藝妓は出入しないのでありますが尚〳〵遊興飲食税法の面から申しますと私共料飲業者は特別徴收義務者としての責務を負わされ花代及飲食料金に對し（花代十五割飲食八割）加税して頂戴し納付しなければならないのであります、現在平の料理店組合は飲食税として一ヵ月約六十万円以上の額を納付して居ります、この半額が平市の財源の一部となる譯であります。

私共組合員は縣の二十四年度豫算中遊興飲食税一億七百万円と云う數字に對し營業を通じ協力一致縣の要望にお應えする意味からも前述の樣な無許可營業者に藝妓が出入した場合も料理店と同じ遊興飲食税に對する義務履行を要するものでありましてこの爲に起る誤解から藝妓の自由を束縛又は强壓したと一部報導されたのであります。

事實は私共料理店組合より十二月初旬藝妓一同に對し客と直接取引を希望すると共に出先の自由も申し入れたのでありますが、當時紅陽會（藝妓組合）の協議に依り料理店とのみ取引きする旨を申出られて居るのであります。

藝妓の自由にお出先を求め取引きするのも、何人が自由に藝妓屋を營むもあえて差支え無い事でありましてただ平の料理店組合と藝妓屋組合とは古くから申合規約が現存し互いに信義に基く取引きを交して參りました。

最近は一部の自己本位者からか一方的に道義を無視し束縛の强壓のと非難され料理店は顔負けしつゝも藝妓の藝道習得其他發展向上に對しては寄與貢獻し縣下の同業組合より賛辭を贈られて居る程でありまして貴兄の余可通な記事の如きものでない事を茲に辯明致します。

贈首問題て眞相調査
古河好間炭鑛問題くすぶる

講習會は延期

二十八日石城地方事務所に開催の豫定であつた滑通り民生委員講習會は縣の都合で二月四日午前十時に延期された

御婚禮用調度品は
特賣中の萬屋のタンス
萬屋家具店
平四町目（電386）

中華料理
華香樓
電七〇二番
そば一ッ料理一品でも
早速御届け致します

新裝！
貴女がキツト
お氣に召す
新らしい美容室
平市銀座通り
メイ美容室

住込
女中さんを求む
二十才～二十五才
委細面談
平市一丁目
電五三九番
綠屋本店

看護婦及見習募集
（履歴書持參御來院下さい）
外科 整形外科
放射線科
松田病院
小名濱町（電四三四番）

日刊（毎月曜）　昭和21年6月1日（第3種郵便物認可）　昭和24年2月28日 運輸省特別級承認第238號

水産版

鮫の肝油を製造

二十日 縣水試で試運轉

縣水産試驗場が五十二万円を投じて設備したビタミンA肝油搾油機の試驗は二十日午後二時半から同水試で鬼丸縣經濟部長、大島北海道區水産研究所長、松井農林省資材調整事務所水産課長、松井縣水産事務所長、各ハマ底曳漁協組代表、加工業者、ビタミン關係業者等約三十名が參集して行つたがその結果、油鮫肝油とダラ肝油の單位が別項の如く判明、好調裡に試運轉を終了したがこれに先立ち場長室で懇談會を開き安達場長、鬼丸經濟部長の挨拶、山村水産高校教官の同試驗を行うまでの經過報告等があつた、なお鮫肝油の製造は引續いて試驗される

修理中だつた小名濱海上保安署所屬の巡視船うずらは二十日月振りで二十日曉港

ドラム一本で四十一萬圓

―驚異的なドル資源―

機械は超遠心分離機

從來行われて來た普通の煮取或は煎取法による肝油採取法は色彩及び臭氣が強く輸出の對象にならず且つ處理方法が不完全なためビタミンの損失が多い、今度水試で採用したシャーブレス超遠心分離機を主体とした精製裝置はこの缺點を補つており最も近代化したまた大抵の水産加工場にはこの機械が大型でないため据付けが可能である點注目を惹いている

當日行われた處理方法によると原料肝臓を肉眼に依り豫めビタミンAの濃淡を色彩に依り嚴選し總べて熱處理を行う（この場合ビタミンAの性質は熱、光、酸素に對して弱く操作中に損失が多いので細心の注意が必要）先ず肝臓を細斷（チョッパー）し煮熟（蒸氣に依る加熱、弱アルカリを加える）した上壓はん機に入れ分離を容易にする、シャーブレスで油と水の分離を行い湯洗し色と臭を除去するそして再び油、水分離（シャーブレス）し單位を決定更に油の精製することになつている

かくして出來上つたビタミンA肝油は同水試の調査によるとドラム罐一本一万單位（國際）の低單位で六万一千五百六十円、中單位の五万單位で四十一万七千六百円、更に三十万單位に達すると實に四百四十七万一千円と云う注目すべき價格を示し『鼈より質』の重要さを如實に見せている

新分野は 高級潤滑油

懇談會で要望

大島博士、鬼丸經濟部長を囲む懇談會はビタミンを中心として行われたが今後は相鮫等の深海鮫による高級潤滑油スクアレンの製造にも乘出すべきだとの話合があり水試側でも考慮を約したが同博士一行が退場した後も加工業者が殘り安達場長に『加工業者は常に強い關心を寄せている

年度内に五万ドラム 八十七万圓を稼ぐ

水試の鮫肝油製造計畫

縣水試では滿内技師が主任となつて年度内に肝油を三万乃至五万の中單位のものを一ドラム、一万乃至二万單位の低單位のもの四ドラム罐を生産する、これに要する原料（肝臓）は油鮫三百貫、マグロ類五十貫で製品は四万單位のドラム罐一本三十三万六千円、二万單位のものドラム四本で五十四万円合計八十七万六千円になる計算である

千百單位

試驗結果判る

（別項）廿日の試運轉の結果は水産試驗場の調べによると△タラ肝油千百四十單位△サメ肝油五百單位であつた、これはビタミンの含有量が水産試驗場の調べによると△タラ肝油千百四十單位△サメ肝油五百單位であつた、これはビタミンの含有量が

港工事務所

小名濱で 繼續陳情

小名濱町では運輸省小名濱港工事事務所が二十四年度で豫算關係上打切られるとの風説もあるので去る十七日青島同工事事務所長の案内で町議代表が中央に出向き工事繼續方を陳情したが若し二十四年度で一事が打切られることになると港雜港としての同港の利用價値全く意味をなさなくなるので業者側もこれについて強い關心を寄せている

練製品業者も悲鳴

原料不足とコスト高

最近の購買力の減退と原料魚の不足のため練製品業者は悲鳴をあげている―これを小名濱水産練製品加工協組に見ると四十八軒（平方部も含む）の業者は殆んど休業し僅に時々注文ある御祝儀用のカマボコ等を小規模に作つている程度でこのまゝ進めば常磐の竹輪、カマボコ業者は自滅すると悲觀している

原料魚を供給する底曳船は暫くサンマに轉換していたため原料不足で業者は操業出來ずにいたところへ今度は底曳が出漁しても薄漁で原價が高くつく惱みに喘いでいる始末、またこゝ一ケ年にカマボコは一本百三十円のものが半分以下の四十五円、揚もの一貫匁三百円のものが百八十円と購買力（金詰）の減退で暴落いと少ないことを示す肝臓の色彩が薄いものを使つたこと、また原料が古く小さなものを使つたことなどが原因としておりまたビタミンの濃度をあげる設備がしていなかつたことなどのために成績が芳しくなかつたものである、同水試ではこれから獲れる油ザメの新鮮な肝臓と色彩に留意すれば今度の試運轉の機械もビタミンA油に馴れて來ており平均一万單位は生産されるだろうと自信をもつている

漁業制度の改革

趣旨の普及に乘出す

新漁業法に伴う漁業制度改革第一回研究會は十日から三日間水産廳千葉で東海區水産研究所に開いたが縣水産事務所からは松井所長、岩渡、越坂技師らが出席した、第二回研究會は三月上旬に開かれる豫定、同水産事務所では三月十四日に漁業法施行令が公布になるので、これと同時に各ハマに新漁業法の趣旨普及に乘出すことになつている、同事務所で説明している新漁業法の主旨は次の通り

漁業生産力を發展させ漁業の民主化を計ることは日本の民主化並びに經濟再建の重要な一環で行詰つた現行漁場關係の整理を前提とし新に漁業生産に關する基本的制度を定め漁業者及び漁業從業員を主体とする漁業調整機構の運用によつて水面の總合的高度利用を計るために漁業團体制度改革と相まつて現行の漁業制度を改革する

千代丸の轉覆原因

海難審判へ

小名濱海上保安署では十七名の犠牲者を出した小名濱に馬上增次郎氏所有第一千代丸（二十九トン）の轉覆原因について調査中だつたが一應書類も出來上つたので横濱の海難判理事官へ發送した、同理事官によつてこの原因の判決が近く行われることになり關係者の注目を惹いている

遺族補償費

千代丸乘組員に

平勞働基準監督署では千代丸の遺族補償費について龍田、志賀両監督官を派し事情を詳細調査中だつたが業務上の死傷が原因となつていることが判つたので死亡確認次第平均賃金の千日分、そのほか六十日分、の葬祭料を各人の基本賃金に應じて支拂うことになつた、なお死体が發見されない場合は六ヵ月目に支給する

千一万七千貫水揚

昨年中 日標より著減

縣水産事務所では二十四年中の總水揚高を千一万七千四百九十九貫と發表した、これを目標の二千万貫と較べると九百九十八万貫も著しく減つているわけ、同事務所の説明ではイワシ、カツオ、マグロとサンマも不振であつたためである、この年間中の主な水揚は次の通り（單位貫）

△サンマ三、一二〇、四七〇△イワシ四七、四二五△カツオ三三四、三九八△マグロ一七、八二一

小濱を埋立

江名造船で

江名町岸浦にある江名造船所（社長坂本菊治氏）では現在の場所では敷地が狹いため同町との境に當る豊間町小濱海岸を埋立する事になりこの程工事に取掛つた、工費は約九百万円で村や組の請負、三千坪の敷地をこの夏までに完成しようとするもの、元來江名町は敷地が狹く工場はおろか住宅建設にも事缺いている狀態だが今度同造船所が試みた海岸の埋立工事により海に敷地を求めたため理想的な造船所が誕生しようとしている

北海道入會問題で氣勢

六縣旋網等代表猛運動

福島、千葉、茨城、宮城、岩手、青森の六縣旋網業者代表は十四日東京參議院議員会館に參集し北海道入會問題について氣勢をあげた、本縣からは三代縣旋網漁協組合長らが參加し『先に北海道廳で發表した入會許可方針は漁船を待たぬ北海道民に極利化されるばかりで漁業法の精神になしておりこの際日本水産の現狀から見て余裕内地漁船の活用こそ絶對必要である』と道廳のモンロー主義を強く排撃した、また北日本水産新聞の報道によれば『各縣とも北海道入會は團体交渉で行く』のスローガンによつ進むことになつているため底曳漁船の北海道入會以上の猛運動が中央に於て展開されるだろうと云うにありこれに對する北海道側の態度が注目されている

漁船保險讀本

▽…漁船保險とはどんな保險か

漁船は漁民の大切な財産です持てる一切を投じて成つた漁船こそ漁民の貴重な分身であり骨肉であります この漁船を海上（時には陸上）あらゆる危險から常時守り續けるのが漁船保險であります、つまり漁船保險は漁船の所有者同志でつくつた漁船保險組合であり、この組合員がお互に助け合うところの保險をするのです

この漁船保險を行うために政府は昭和十一年に漁船保險法を制定したのです、漁船保險の支拂う保險金の九割は政府が負擔し保障しているほかにいろ〳〵と後援をしています

現在設立の組合數は全國で五七組合でそのうち地域的組合が四八業態的組合が九であり昭和二十二年末現在では加入後數一三、五五四及保險金額一、四三八、〇九四、五四〇円で同年度中に發生した保險事故の總數は一、一八二件でこの内全損が二〇四件分損五〇九件分損救助費三七九件救助費八八件その他二件で支拂保險金の總額は七六、三六七、五一七円であります、漁船保險に加入するには漁船保險組合又は各濱の漁業協同組合に申込んで漁船保險組合の承諾を受けて保險料を拂込めば即時保險加入となり且つ組合員となります

保險料は漁船の大小漁業の種類漁業區域等によつてまちく〳〵ですが營利を目的とする會社保險に比べると政府が後援している保險ですから安いのが當然です、保險金額（保險を付けられる金額）は保險價額（漁船の時價）の八割程度で五百万円以下を原則としていますが特別の場合は全額まで付けられます

保險に加入している漁船が沈没、行方不明、大破で修繕不能とか漁船の全部が駄目になつた場合（全損）には保險金額の全部を受取れます又蛇がこわれたとか櫓が折れたりクランクが折れたりプロペラがこわれたりすることがありますが、このように船体や機關の一部がこわれた場合（分損）や漁船に事故があつた場合の救助の費用（救助費）に對しては保險金額の保險價額に對する割合で保險金を受取れます、萬一以上のような事故があつたならどういたしますか復興が困難ではないでしようかここに自力復興の道が唯一つあります、それは漁船保險に加入することです

漁船保險に加入して安心して漁業に從事しましよう

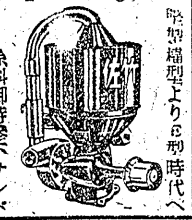
本年四月以降本縣漁船保險組合の支拂保險金は二一万円で實に一二、五二一、五〇七円に上つて居ります（縣漁船保險組合提供）

× × ×

今週の潮

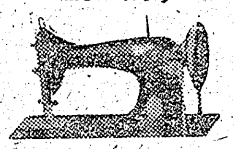
廿四日	八、一〇分	一一、二五分
廿五日	八、四〇分	一一、五五分
廿六日	九、〇五分	一二、〇五分
廿七日	九、三五分	一二、三五分
廿八日	一〇、一五分	一、五五分
廿九日	一一、一五分	二、〇五分
卅日	一二、一五分	三、一五分

外科 整形外科 皮膚科 泌尿器科 放射線科
松村医院外科
松村亨
平市南町二二（電一〇七番）

昭和24年最高審査中 精米麥機 只一優勝旗受領機 佐竹
E型精米麥機
定量白米 一度に精米 馬力能率 馬鹿高能率 不用白砂糖 不用水 最適 機械つき 最高 昇降機 留置 粉砕 歩留 節減 形崩れ 水無し 温度低 限無し 無低
原子爆彈的革命機
馬力 1/2・1・2・3

陸軍標型より改型時代へ
肥料御持參下サレバ即時賃搗ヲ致シマス
正金商會
平市材木町電九三一番

耳鼻咽喉科
高柳醫院
高柳博明
平驛前（電一二一番）

寒さの御用心
神經痛 リウマチス 百日咳
感冒 肺炎 風咳の季節に
良く効く 塗布及濕布藥内服藥を御利用下さい
藥局 あこう
平市田町銀座 電44

ニューロング

ミシン販賣修理 各種ミシン用品一式
ミシン
東北で唯一の即立以來一錢の修理費のかゝぬ使う身になつて造た無限責任附ミシン
東北の元祖ミシン界の權威者
大和田ミシン店
小名濱町二三番

技術と傳統を誇る安價提供の
大塚へ
平市三田小路 電七七

ぢ疾
でお困りの方にぜひおすゝめしたい
評判の專門藥が御座居ます
どうぞ一度御來談下さい
藥は信用第一
信賴して御相談下さい
小名濱町本町
ダルマ藥局
電話二二番